



MONTHLY
MAGAZINE

March 2020
[バズゴルフ]

BUZZ GOLF

Keith Mitchell

Erika Hara

MIZUNO
X
BUZZ GOLF
*Special
Collaboration*

Luke Donald

TOUR READY
WORLD READY
MIZUNO

世界戦略イヤーを
見逃すな!



PRESENT!

足元の機動力を約束する
MIZUNO GOLF SHOES



REACH BEYOND



ST₂₀₀

ST_{200X}

**界戦略 STシリーズ
3.20 DEBUT**

TOUR READY
WORLD READY



MIZUNOの世

200x



TOUR
READY
WORLD
READY

MIZUNO

世界戦略イヤーを
見逃すな!

OPENING

WORLD READY 世界で勝つ 準備が整った。

2020年から ウッドで世界戦略を アピール

皆様は「ミズノ」というブランド、ゴルフクラブに、どういった価値観を抱いているだろうか。BUZZ GOLFでは、2019年に「ミズノ」の最高品質「Mizuno Pro」を幾度に渡りレポートしてきた。フィッティングカンパニー・ミズノを掲げ、独自のスイング測定機器シャフトオブティマイザー3Dを使用した3球フィッティングの実施を強く推奨。フィッティングへのハードルを下げた功績、そして全てのプレーヤーに最適かつ最高品質「Mizuno Pro」を提供していく姿勢……。 「ミズノ」のゴルフアー一人ひとりに対する真摯な向き合い方が象徴だったと同時に、「Mizuno Pro」のさすがのクオリティには、フィッティングカンパニー以上にアイ

アンカンパニーたる確固たる存在感を見せてくれた1年だったように感じる。では日本以外、海外のゴルフアーが抱くミズノに対する価値観はどうだろう。私たちが変わらずアイアンカンパニーたるゆるぎのない存在価値を築いているようだ。全米で5位、欧州で4位というアイアンシェアは、日本ブランドで唯一世界と、戦えるブランド、というポジションを築いている。

世界に誇るスポーツメーカーとして、ゴルフ部門で「グローバルカンパニー」戦略を目指すミズノが挑戦するのはドライバー、つまりウッド部門での世界への挑戦だ。すでに2018年よりアメリカ、欧州で展開し、好評を得ている「ST」シリーズを日本でも2020年より満を持して展開開始。グローバルで統一したウッドブランド「ST」として、真つ向から米国ブランドを競合とし、それらを上回る飛距離を性能化して実績を積み上げていく。

MIZUNOは PGAショー 2020に出展

ゴルフ市場世界最大の見本市、PGAマーチャндаイジングショー2020に出展(2年連続)。「ST」[JPX]を通してMIZUNOのクオリティを目の肥えたゴルフ関係者たちにアピールした。



OPENING

TOUR READY アドバンテージが取れる 圧倒的な飛距離を——。

競合ブランドを
手にしてきた
契約スタッフ
プレーヤーたちが
続々と「ST」にチェンジ

ゴルフ歴が長い方ほど、ミズノのドライバーが持っていたカリスマ性に懐かしい印象をお持ちではないだろうか。「TZOIDメタル」はニック・ファルドが使用、1996年にマスターズで優勝を挙げた。「300S」はビジェイ・シンが使用、2001年に同じくマスターズで優勝。メジャーの中でもマスターズという最高峰のフィールドで2勝を飾ったこの2本のドライバーはもちろん市場も席巻していた。

しかしドライバーマーケットは一気に最大ヘッド体積の460㎤時代に突入し、絶えず先進性をアピールする米国ブランドが、ゴルフの最先端フィールドであるPGAツアーの使用率と勝利数を誇示して、市場を牽引することとなり今に至る。PGAツアーを主戦場とするミズノスタッフプレーヤーたちも、ドライバーは競合となる米国ブランドのモデルを使用。アイアンの確固たる存在価値に対して、かけ離れていたドライバーの価値観は、ミズノのゴルフに携わる全てのスタッフが、例

外ない悔しさを抱いていたに違いない。そんな積年の課題をPGAツアーの勝利で覆ったのが「ST」ドライバーである。

2018年より「ST180」でスタートした「ST」は、2019年にはキース・ミッチェルが「ST190」を使用して、ホンダクラシックで優勝を果たす。そしてミズノのアイコンプレーヤーであるルーク・ドナルドも競合ブランドから「ST190」にスイッチした。さらに「ST190」は米国HOT LISTでGOLDを受賞し、その存在価値を一気に高めた。そんな様子を情報感度の高い日本のゴルフファンが見逃すはずもなく、「ST」の日本での展開を切望する数えきれない声がミズノに寄せられたのだ。

誰もが認めるアイアンカンパニーから、日本が世界に誇るグローバルゴルフカンパニーへ。ワールドウッドブランドとなった「ST」ドライバーで、競合米国ブランドと真っ向から勝負するツアーシーンでは日本でも原英莉花や時松隆光などが、その飛距離性能に驚愕し、2019年ツアー終盤に新モデル「ST200X」を即導入。2020年ツアーに10ヤード超もアップした飛距離をアドバンテージに新たな勝利を目指す。



Mizuno Staff Player
原英莉花
(日本通運)



原英莉花



小鯛竜也



時松隆光

TOUR
READY
WORLD
READY

MIZUNO 世界戦略イヤーを 見逃すな!

いよいよ日本でも3月20日から発売される「ST」ドライバー。ミズノが米国競合ブランドに勝ると自信を持って送り出す最新「ST200X」、「ST200」に続々とスタッププレーヤーたちもチェンジ。その圧倒的飛距離性能が私たちにどういった恩恵をもたらすか注目したい。

いわゆる「洋風」的、原英莉花、小鯛竜也の弾道進化が「ST」のポテンシャルを象徴する

ドライバーというクラブは、いつの時代も飛距離にこだわったクラブであることに違いはないが、日本ブランドと米国ブランドでは、その導き方が大きく異なっていることが伺える。MIZUNOから見られるドライバー像はまさに日本的。打感、打球音、そして弾道を操って飛ばすプレーヤーの感覚へのマッチングにこだわったアイアンにも通じるモノづくりが象徴的だ。対して米国ブランドのそれは大慣性モーメントの恩恵を最大限に生かした直線の弾道が象徴的でそれは14本のセットの中で唯一異質の存在。PGAツアーではそれらを使うトップアスリートたちが圧倒的な飛距離で、その優位性を世界中に知らしめている。プレーヤーの趣向、そしてフィールドの戦略性などで違う道を進んできた日米のドライバーだが、MIZUNOが世界戦略を指す上では、どうしても「洋風」的な機能やツアーシーンでのトレンドを盛り込みながら、かつMIZUNOに

しか出来ない独自性を表現する必要性があった。そして生まれたのがスピードテクノロジーの「ST」である。

MIZUNOは日米で二極化傾向にあるドライバーを、「ST」と「Mizuno Pro」でカテゴライズして、それぞれで最上級の機能を追求して展開していく。自ら発信するホームページでは、「ST」VS「Mizuno Pro」という対決を企画し、スタッププレーヤーたちのブレースタイルにマッチしたドライバーはどちらか?という興味深いテストがアップされている。ご自分のブレースタイルと照らし合わせながら、ご覧いただきたいものだ。原英莉花、プロや小鯛竜也プロのテスト結果から見られる明確な弾道進化は「ST」のポテンシャルそのものが象徴されていると言えるだろう。

何はともあれ、米国競合ドライバーを手にしていった海外のスタッププレーヤーたちが、こそって「ST」にチェンジした事実は、それがいかに優れているか容易に想像できるはずだ。私たち日本のゴルファーには初顔見せの逆輸入ドライバーだけに、新たな飛距離性能がどれだけ享受できるか興味深い。

日本に登場。



ルーク・ドナルド



キース・ミッチェル



アダム・シャンク



ST、逆輸入で

ボールスピードで圧倒できる 禁断のフェース素材 “βチタン”。

ルーク・ドナルドやキース・ミッチェルが「ST」にチェンジした理由の一つに、競合米国メーカーを圧倒するボールスピードが飛距離アップに貢献したという。では「ST」は何が違うのか・・・禁断と言われるフェース素材に秘密があった。

高反発時代に採用されていた強度としなやかさを合わせ持った高級チタン素材

ボールスピード、いわゆる初速をアップさせることは、飛距離性能を向上させる開発テーマとして最重要課題となる。各社、ドライバーはCT値と言われる反発性能値をルール上限まで高め、そのエリアを広げること注力しているのである。MIZUNO「ST」もその例外ではないが、競合米国ドライバーを使用して海外スタッププレーヤーたちが、ボールスピードの違いを感じてチェンジしたのだから、明らかに反発力の違いが備わっていると言える。

「MIZUNOがボールスピードをアップさせるために、こだわっているのはフェース素材です。高反発時代に圧倒的な飛距離を誇った『300S』

「ST200X」、[ST200]のドライバーだけでなく、飛距離にアドバンテージが要求される3Wにもβチタンは採用されている。「ST200X」3WはCOR値(反発係数)にして、ぶっ飛び3Wと言われるライバルより、高い数値を誇り、ドライバーにも迫る反発力を実現している。

βチタンは3Wにも採用されている

PICK UP!



リア拡大に成功し、ライバルメーカーを上回るボールスピードを実現することが出来たのだ。

「ST200X」、[ST200]ドライバーでボールスピードのアドバンテージを得たほか、βチタンは「ST200X」3Wにも採用しました。ドライバー並みの反発力を持った「ぶっ飛び3W」の飛びにも注目していただきたい。

フェース裏面は、中心部に厚みを持たせ周辺部を薄くしたコアテックフェースデザインとし、フェースのたわみ量を効果的に増幅。CT値をルール内にクリアしながら、反発力の増大とエ



ミズノ株式会社
グローバルイクイップメント
プロダクト部
大野貴夫さん

ウッドはパーシモンからメタル、そしてチタンへと素材の進化を遂げてきた。今、フェース素材はチタン全盛時代だが、同じチタン素材の中にも性能の優劣があることを知っておいていただきたい。一般的な6・4チタンは汎用性の高さとコストがウリだということだが、MIZUNOが採用するβチタンはたわみや強く強度にも秀でた、ボールスピードアップには最も適した高級素材であること。MIZUNOは言わないがコストもそれなりに高額だということが伺える。優劣は明らかだ。

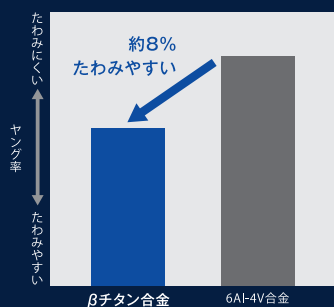
TOUR
READY
WORLD
READY

ST、逆輸入で日本に登場。

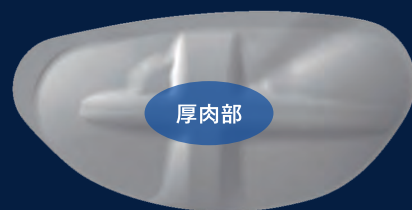
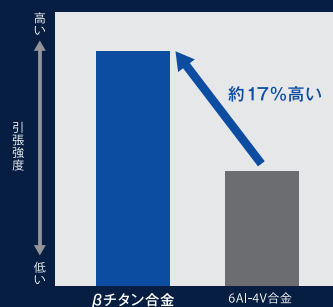
MIZUNO
世界戦略イヤーを
見逃すな!



たわみやすさの比較 (ミズノ調べ)



強度比較 (ミズノ調べ)



フェース裏側構造図

禁断の高初速素材「βチタン」とは

一般的なチタン合金 (6Al-4V) に比べて強度が高く、たわみやすいため高い反発性能を発揮できる。たわみの大きいフェースは、インパクトでボールの変形を効率化させて、ボールスピードアップに寄与することができる。

鍛造コアテックフェースデザイン

「βチタン」のポテンシャルを最大限に発揮するフェース裏面の構造「コアテックフェースデザイン」。フェース中心部に厚みを持たせ質量を付加し、フェース周辺分を薄くすることでフェースのたわみを増幅させる。

ST、逆輸入で日本に登場。

TOUR
READY
WORLD
READY

MIZUNO

世界戦略イヤーを
見逃すな!

“軽量シャフト=暴れる”を 完璧に払拭できた次世代シャフト。

世界戦略モデル「ST」には、日本にマッチしたスペックが求められた。
それはクラブの軽量化。50グラム以下の軽量帯ウッドシャフトが
一般化している中、MIZUNOが出した回答は次世代型軽量シャフトだった。

独自の最先端 カーボン技術を持つ ミズノテクニクス (養老工場)

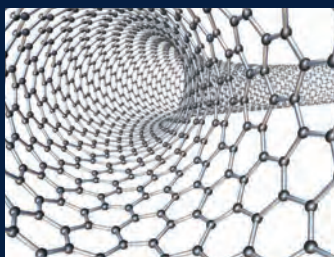
昨今、ウッドシャフトの軽量化は目覚ましい。その恩恵を受けるのは、やはり私たち一般的なアマチュアゴルファーであり、とくに体力的に振る力、速さが落ちたプレーヤーに、振りやすさや加速感というボールを飛ばすための絶大な効果をもたらすことができる。日本は世界の中でもクラブの軽量化の最先端を走っており、MIZUNO「ST」も、独自技術で見事に対応した。「シャフトは軽くなればなるほど、カーボンの積層が薄くなるため軟弱になり、自ずと暴れやすい、つまりトゥダウンが大きくなる傾向にありました。メリットとデメリットが共存する軽量シャフト、MIZUNOではデメリットを解消する技術研究を長年行ってきました」(ミズノ・大野さん)。

ミズノは独自のカーボン技術を持つ会社だということはご存知だろうか。よくゴルフメディアで紹介される通称・ミズノ養老工場こと、ミズノテクニクスには様々な先進的工業製品のカ

ーボンパーツを製造する技術がある。有名などころで言えばトヨタの電池自動車「MIRAI」の高強度かつ高精度が求められる水素貯蔵タンクや、カシオ「G・SHOCK」の柔軟性と高精度なバンド部、他にも産業用ロボットアームや医療機器部品などにもミズノのカーボン技術が採用されているのだ。さてこのカーボン技術、シャフトにどう活かされたのだろうか。

「カーボンナノチューブと炭素繊維強化プラスチックを複合化させる独自技術により、肉厚を増やさずに衝撃強度を上げることができました。軽くても暴れにくいを実現でき、軽くても極端なしなり挙動は発生しない。中折れ感などの違和感を感じず、素直なしなり感でスピーディーかつミート率に貢献することができました」。

そんな超技術が搭載された軽量シャフトが「MFUSION」である。これは、軽さ＝安定性、という従来にはない二律背反を実現してしまった凄い技術なのである。飛びの「ST」と次世代軽量シャフト「MFUSION」、日本のゴルフアームに飛距離を約束するMIZUNO渾身のマッチングである。



※カーボンナノチューブ・・・炭素原子が網目のように結びついて筒状になった構造で、その大きさは直径1ナノメートル(10億分の1メートル)。人の髪の毛の5万分の1の太さになる。

様々な工業製品で 発揮される ミズノテクニクスの カーボンテクノロジー

スポーツ用品だけでなく、産業用ロボットアームや医療機器部品、ラジコンヘリコプター部品など様々な分野でミズノのカーボンテクノロジーが活用され、その技術がMFUSIONでも発揮されている。



例えば

トヨタ自動車「MIRAI」用高圧水素タンクに高強度と高精度を備えたミズノのトゥブリプレグが採用されています。



例えば

カシオ計算機「G-SHOCK」時計バンドの柔軟性と高精度を両立させたミズノのカーボンテクノロジーが採用されています。





20 MFUSION

SPEC (フレックス/重量/トルク)
S/49g/5.6、SR/44g/6.4、R/39g/7.2、中調子

PLATINUM MFUSION

SPEC (フレックス/重量/トルク)
PLATINUM R/34g/8.8、中調子

MFUSIONの先進技術

カーボンナノチューブと
炭素繊維強化
プラスチックの
複合化

肉厚を増やさずに衝撃強度を上げることが可能になり、“軽くても暴れない”次世代軽量カーボンをかたちにした。

ST、逆輸入で日本に登場。

TOUR
READY
WORLD
READY

MIZUNO
世界戦略イヤーを
見逃すな!

ツアープレイヤーたちは
「ST」でスピンを
最適改善して飛ばした……

私たちも
改善すべきは
スピンだ。

軽量市場戦略モデルで
展開される「ST200X」は
MFUSIONシャフトを選ぶことで、
幅広い日本のゴルファーが
ツアープレイヤーたちの得た
飛びを手にする。
それは絶対的なスピン量の
最適化を可能にして
くれるからだ。

3/20
発売

やさしく打てる
高初速×低スピ
ン
ST200X

SPEC

- ロフト角 / 10.5度±2
- ヘッド体積 / 460cm³
- 税抜価格 / 65000円～

ライバルモデルよりも 10ヤード以上飛ばせた

「ST200X」に替えた原英莉花プロや小鯛竜也プロらのインプレッション動画をみると、10ヤード超もの飛距離アップを実現しているが、私たちも同じ結果になる期待値は大きい。ボールスピードの向上とともに改善されたのはスピニングだ。

「市場で支持を得ているとくに軽量帯ドライバーとして発売されているモデルでは、弾道の高さと同比例するようにスピニングが多めな傾向にあることが私たちの調査で見られます。『ST200X』はスピニングが多いゴルフファアのスピニングを抑えることができ、弾道改善に貢献します」(ミズノ・大野さん)

MIZUNO SPEEDTECH

高弾道は人気ドライバーのウリでもあるが、3000回転を超えてしまうとスピン過多による浮力は飛距離ロスに反映されてしまいがち。「ST200X」はカーボンクラウンを採用し、余剰重量をヘッド下部にバランスよく配置することでスピニングを抑える重心設計を施している。

「2000回転前半にスピニングが安定できれば、弾道性質そのものが変わります。リトータル飛距離が必ず伸びます。『ST』にチェンジしたツアープレーヤーたちは顕著にそれを感じ取ってくれましたが、もともとスピニングが多めな傾向にあるアマチュアゴルファーこそ、もっと顕著にその効果が発揮されるのです」。

ボールスピード・スピニング・打ち出し角という飛びの3要素はこれまで



高弾道・低スピニングを生み出すカーボンクラウン。ミズノ独自にハーモニックインパクトテクノロジーにより、カーボンクラウンでも打感の良さを実感させてくれる。

もこれからの時代も変わらない。ただ知っておくべきはモデルによって数値のパラメータに差があり、それが性能を構築させているということ。ボールが、上がりやすい「飛び」には安易に繋がらない。「ST200X」はボールスピード向上とスピニング抑制を追求したモデルであるということ。最適なロフト角のセレクト、そしてMFUSIONシャフトのマッチングで振り切れは弾道は見違えることだろう。MIZUNOの世界戦略ドライバーの飛びは間違いなく最先端を走っている。そして飛びだけではなく、しっかりと打感や打球音の良さが確保されているのが、MIZUNOらしい。ツアープレーヤーたちが即チェンジするのも納得だ。

ST SERIES LINEUP

3/20
発売

叩ける
高初速×低スピ
ン
ST200

SPEC

- ロフト角 / 9.5度±2
- ヘッド体積 / 460cm³
- 税抜価格 / 65000円～

高初速×低スピ
ン
飛び系フェアウェイウッド
ST200X

SPEC

- ロフト角 / 3W/15度、5W/18度、7W/21度
- 税抜価格 / 3W/48000円～、5W・7W/38000円～

高初速×低スピ
ン
ユーティリティ
ST200X

SPEC

- ロフト角 / 4U/20度、5U/23度、6U/26度
- 税抜価格 / 35000円～



海外で存在価値を 高めていた「JPX」

MIZUNO「JPX」ブランドが、米欧をはじめとする海外でブレイクしているのは「ご存知だろうか」。

「JPX」と言えば2005年に日本で展開が開始されたブランド。やさしさ、飛びをテーマにしたブランドとして多くのアマチュアゴルファーに長く愛されてきた。時は流れ、MIZUNOが展開する日本市場が「Mizuno Pro」で統一されたとき、私たちの前から「JPX」は姿を消してしまっていた。

が、海外では「JPX」は独自路線でそのまま展開が続き、現在ではアイアンのMIZUNOを象徴するまでの存在になっているのである。ツアーでの戦績は凄まじく、その中でも注目されたのはワールドランキンゲトップ選手が使用し、全米オープン2連覇、全米プロ制覇などを達成した

ことだ。日本女子ツアーでも複数人が「JPX」を使用し、勝利を飾っている。米ナンバーワン情報サイト「MY GOLF SPY」のベストモデルでは3冠（ツアー、フォージド、HOT METALの3モデル）を達成するほど、アイアンとしての完成度の高さが評価されているのだ。そんな情報を、日本のファンが見逃すはずもなく常々、日本展開が熱望されていたが2019年に限定1000セットで数々の勝利を挙げた「JPX 919 ツアー」が発売され、まさに瞬時に売り切れてしまったという。

その「JPX」が、「ST」同様に逆輸入で日本に凱旋だ。海外で高評価されている飛び系「JPX 919 HOT METAL」のパフォーマンスをより洗練させた新作「JPX 200X」で、日本のぶっ飛び系アイアン市場に殴りこみだ。他と一線を画した飛距離のアプローチに注目していただきたい。

世界基準の JPX アイアン、 日本凱旋。

“飛び系アイアン”というカテゴリーを抜け出し、さらに飛距離を追求した“ぶっ飛び系”なるモデルが注目されている。

『要望されるなら応える』、アイアンのMIZUNOが出した結論は、海外でリブランドされ、逆輸入された「JPX」だった。

世界基準のJ P Xアイアン、日本凱旋。

ユーティリティ化させない
正統派アイアン形状

深重心化が必須とされるぶっ飛び系アイアンであっても、「JPX200X」はアイアンとしての構えやすさに妥協はしない。セットアップ時にソールがバック側に見えない正統派アイアン形状である。



ミズノ株式会社
グローバルイクイップメント
プロダクト部
大野貴夫さん



キャビティトップエッジ側にサウンドリブを採用し、インパクト時に悪い打感を発生させない工夫がなされている。MIZUNO独自のハーモニックインパクトテクノロジーは他ライバルモデルと異なる発想でフィーリングを追求している。

打感の良さを追求する 4つのサウンドリブ

単一素材で 機能を表現できるから MIZUNOは 世界で支持される

今や全てのメーカーがラインナップする飛び系アイアン。その中でもさらに飛距離性能を際立たせたのが、ぶっ飛び系と呼ばれるカテゴリーアイアンだ。ただ設計自体が飛距離追求となるストロングロフト＝深重心が必須テーマになるため、自ずと形状はアイアンというよりユーティリティに近いものになりがちである。

「私たちは完全にユーティリティ化したものを、発売するわけにはいきませんし、何よりゴルフアークがそれをMIZUNOのアイアンとして受け

入れてはくれません。機能を追求しながらもアイアンとしての構えやすさや美しさにもこだわるのが私たちMIZUNOの絶対ポリシーです」(ミズノ・大野さん)。

あくまでターゲットを狙うクラブであるアイアンにおいて、構えた印象が結果を左右させてしまうことにある。MIZUNOは一番よく知り重んじている。ぶっ飛び系の「JPX200X」も、例外ではない。また形状の印象にリンクするように手に伝わる打感や打球音も忘れてはならない妥協できない要素である。

「限られたアイアンという大ききで機能を表現するなら、比重や剛性の異なる複合素材を採用した方が容易ですが、しかしMIZUNOは手に伝わるフィ

ーリングを重んずるために、単一素材は譲れませんでした。インパクト時の悪い打感、打球音を発生させないためにトップブレードエッジ側に用意した4つのリブは、ぶっ飛び系アイアンでもフィーリングを妥協しなかった証でもあります」。

弾道を進化させる飛び、上がりやすさというぶっ飛び機能を追求しながら、フィーリングを兼備させることを絶対に忘れない。MIZUNOのアイアンが海を越えて、世界で愛される答えがそこにある。

“飛べばいい”では許されない フィーリングという MIZUNO POLICY。

このページのアドレスカットを構えた印象でご覧いただきたい。

美しさと構えやすさを兼備した見事な顔(形状)である。

飛距離という機能に偏りがちなぶっ飛び系アイアンであろうが、「譲れないものは譲れない」という、MIZUNOポリシーが感じられる。

ぶっ飛びとともに スコアメイクに貢献する 約束された“アイアン高機能”。

ぶっ飛び系という飛距離性能に秀でたカテゴリアイアンながら、その機能をなし得るプロセスにはMIZUNOのポリシーが感じられる。アイアンがターゲットを狙うクラブであることを決して忘れてはいない。

安定した番手間の 飛距離。ピッチを構築する 細部に至る仕掛け

アイアンで飛距離を追求する方法・・・まず必須なのはストロングロフト化であるが、加えて施されるのは、シャフトの長尺化である。原理はドライバーと同じ。長尺効果によるヘッドスピードアップを促して、飛距離アップに貢献させるのだが・・・

「シャフトが長くなる、というスペック設定はボールを飛ばすこと、上げることには有利ですが、シャフト挙動が大きくなるため安定性を欠いてしまいます。不安定さは弾道のバラツキに繋がりますが、それは左右への方向性だけでなく、縦の距離感、そして距離間が不安定になり、アイアンショットのミスそのものの振り幅が大きく懸念されます。ターゲットを狙うアイアン、MIZUNOとしては必要以上の長尺化は採用できない、と考えました」(ミノ・大野さん)

開発技術としてクリアするべきは、長尺効果と同等以上のボールスピードを確保できるヘッド性能に達すること、

つまりヘッドの反発力を圧倒的に向上させることだ。アイアンの反発力によるボールスピードの向上は飛びだけでなく、ロフトの関係上、ボールの上がりやすさも付与されるのである。

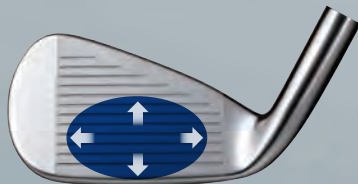
「まず反発力を上げるための素材を吟味、ステンレスよりも強度の強いクロムモリブデン鋼の採用に至りました。ドライバー同様にフェース裏側の打点周辺部を極限まで薄肉化させて反発性を上げ、シームレスカップフェースとすることで高初速エリアを拡大。単一素材のワンピースヘッドでありながら、複合素材アイアンにも負けない飛距離性能に仕上がっています」。

「JPX200X」は7番アイアンで26度という設定から、ぶっ飛びアイアンカテゴリの中でもトップクラスのポテンシャルを持っているが、あくまでプレーシーンに寄り添った譲れないスペック設定へのこだわりがある。「アイアンはあくまでターゲットを狙うクラブだ」と、「JPX200X」は私たちに飛びと安定性を約束する。MIZUNOのアイアンパフォーマンスはじつに奥が深いのだ。

反発性能の向上を追求した「JPX200X」の飛距離テクノロジー

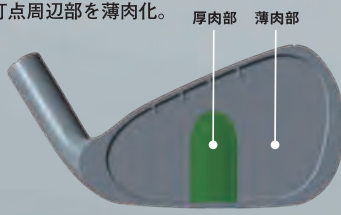
高反発クロムモリブデン鋼 (#6~9, PW, PG)

フェース部の強度を高め、薄肉化による反発性能向上を追求。



コアテックフェース (#6~8)

フェース裏側の打点周辺部を薄肉化。



フェース裏側

シームレスカップフェース (#6~9, PW, PG)

高初速エリアを最大限に拡大させる。



シームレスカップフェース



3/20
発売

JPX200X

SPEC

- ロフト角 / 26度 (#7)
- 税抜価格 / #7~9、PW (4本組み)
カーボン (20 MFUSION i など) :
84000円~、スチール (N.S.PRO
950 GH neo など) : 80000円~

ニット生地&スリッポンで 防水完璧って快適の極み!

—ゴルフシューズとしては変わった趣
ですね。

ゴルフシューズで紐なしBoaなしのスリ
ッポンって、珍しいですよ。しかもニッ
ト生地なので、ゴルファーの皆さんには、
よりデザインに斬新さを感じていただけ
ます。

—ニットって防水性能はいかがです
か?

見た目から不安に感じるのも無理はあり
ませんが、ニット裏面にPUフィルムを張
り合わせているので防水面に心配はあ
りません。ミズノの厳重な防水テストを
もちろんクリアしています。

—履いてみると不思議にホールドの良
さを感じます。スリッポンは足を入れや
すいように幅広はずなのに…。

皆さん同じ意見をいただきますが、それ
はインソールの効果が発揮されている証
拠。通常のものより約1.5倍のグリップ
力で横ずれを軽減させているのです。

—クッション性もとてもよく履き心地
も軽快。1足はラインナップとして加えたい
ですね。

ランニングシューズの技術「ミズノウエ
ブ」を採用したソールなど機能性も申し
分ありません。コースだけでなく練習場
でも使いやすい、また夏場にはショート
パンツに合う一足としても重宝していた
だけのはずです。

WAVE CADENCE KNIT

- SPEC
- サイズ / 24.5~27.0、28.0、29.0cm : 3E
 - カラー / ブラック
 - 底 / スパイクレス
 - 重量 / 約330g (25.0cm片方)
 - 価格 / オープン (実勢価格14000円)



CHECK!

通常カップインソールに比べて約1.5倍のグ
リップ力を発揮するって驚き。横ずれが本当
にないのが体感できます。

軽く、
オシャレで
利便性に優れた
MIZUNOゴルフシューズを
今春にいかが。

MIZUNOコラボ特別号も
いよいよフィナーレのページを迎えますが、
その前にちょいと一息ついて
プレゼントコーナーでブレイクタイム。
MIZUNOの最新カジュアルゴルフシューズを
この特別号をご覧ください皆様へ贈ります。



応募はBUZZ GOLF WEBから buzzgolf.jp

バズゴルフ

検索

※注意 | ▶必ず希望のモデル、サイズを明記してください。▶「ネクスライト」は希望カラーを明記してください。

回答者



ミズノ株式会社
グローバルフットウェア
プロダクト本部
為金貴大さん

ソフトスパイクで 最軽量の270グラム!

—ゴルフシューズ随一の軽さがウリの「ネクスライト」がさらに軽量化ですか!?

はい、年々増える軽量シューズへのニーズに対応するために、「ネクスライト」は進化を続けます。

—ちなみに、270グラムというと軽さはナンバーワンですか?

スパイクがついたモデルとしては、「ネクスライト」が一番軽いです。

—スパイクレスは鉄がない分、軽くできますよね。ではどの部分を軽量化させたのですか?

ソール部の薄肉化ですね。片足で約11グラムも減量させました。履き心地を維持するためにインソールを改良。ウレタン素材のPUインソールでクッション性を持たせました。

—スパイクありにこだわった… つまりは芝面との密着性、安定性を確保しながら軽量化!ということですね。

スパイク鉄自体も軽量化させつつ、方向性をカスタマイズできる機能は残しています。

—なるほど鉄の向きを自在に変えることで、個々でグリップ力を最適に調整できるのですね。軽さだけでなく、しっかりとプレーシーンのパフォーマンスを忘れない、MIZUNOらしさという技術の結晶ですね。



CHECK!

方向性のある「IG5スパイク」は、グリップ方向をカスタマイズできる。スイング中、足のさまざまな動きに対し優れたグリップ力を発揮する。

NEXLITE 007 Boa

SPEC

- サイズ/ 24.5~27.0、28.0、29.0cm : 3E
- カラー/ ホワイト×ブルー、ホワイト×ブラック、ホワイト×レッド
- 底/ スパイク
- 重量/ 約270g (25.0cm片方)
- 価格/ オープン (実勢価格16000円)

ミズノシューズの 防水試験

接地面から4cmの静水に2時間の浸水試験で行われる。カジュアルシューズでも防水を謳う以上は、この試験をクリアしないと防水機能を満たすとは言えない。

※防水1年保証



BUZZ GOLF
PRESENT MAIL

「ウェーブケイデンス」「ネクスライト」を
各3名様(計6名様)にプレゼント!

FINALE

全てのゴルファーに MIZUNOのフィッティングを 受けてほしい。

ベストなゴルフクラブと
偶然に出会うことは
限りなく少ない

ゴルフクラブを買い替える時——。それは現状のプレーシーンでさらなる飛躍を目指したり、または改善を促したりと、プレーヤーによって動機は様々だが、新しいゴルフクラブでベストなプレーをしたいという希望を抱いているのは間違いない。今、多くのゴルフショップでは試打席が完備されているが、安易にベストな結果が出たクラブを選んではいけない。とくにアマチュアゴルファーのスイングの調子は「ミズモノ」、たまたまその日の調子に合わせるのは危険だ。プレーヤーはスイングの本質と向き合う必要がある、それがクラブフィッティングの本質でもある。偶然にベストなクラブと出会うことは限りなく少ないのだ。

MIZUNOは「フィッティングカーパニー・ミズノ」をスローガンに掲げ、2017年の「Mizuno Pro」のローンチとともに、積極的にフィッティングを促している。独自にスイング測定機器「シャフトオプティマイザー3D」を開発。シャフトの手元側に機器を装着し、たった3球打てば「SWINGDNA」を可視化でき、スイングの本質と向き合ったクラブフィッティングを展開できるのである。

ミズノのフィッティングシステムは、直営店を含む全国約360店舗のGCFショップで受けられるが、昨今、

フィッティングを受けるゴルファーが急増している。「たった3球」という手軽さが、小難しいと敬遠されがちなフィッティングへのハードルを著しく下げることができたのだ。

「自分の抱いているスイング像とフィッティング結果にギャップがある方がとても多いです。スイングの本質にマッチングしたクラブをフィッティングで選んでいただいて、ゴルフ本来の楽しみであるコースマネジメントを楽しくでスコアアップを目指していただきたいです」とミズノ専属フィッターは語る。

MIZUNOはGCFショップで一人でも多くのゴルファーに気軽にフィッティングを受けてほしいと願う。それがMIZUNO以外のクラブを買う動機であっても……。フィッティングへのさらなる体感促進、そしてベストなスペックにおいてMIZUNOの性能は負けないという自信の表れだ。

ミズノ3球フィッティングは
全国約360店舗の
MIZUNO GCF SHOPで
どなたでも
受けることができます

※MIZUNO GCF SHOP=
MIZUNO GOLF CUSTOM FITTING SHOP

お近くのMIZUNO GCF SHOPは
ホームページをご覧ください

ミズノGCFショップ

検索

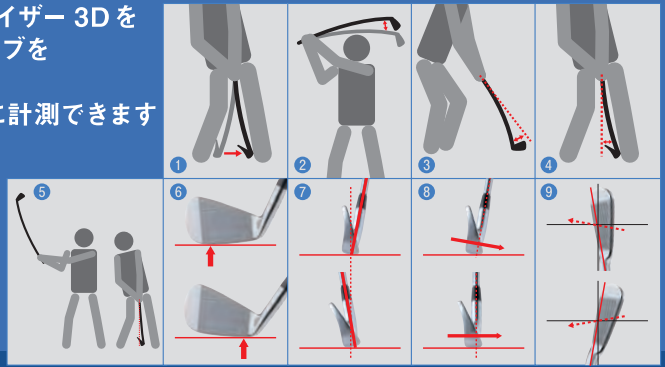




ミズノ淀屋橋店
チーフフィッター
渡辺裕貴さん

シャフトオプティマイザー 3Dを
装着したゴルフクラブを
3球打つだけで
9つの要素を瞬時に計測できます

- ① ヘッドスピード
- ② スイングテンポ
- ③ トウダウン
- ④ 前反り角
- ⑤ しなり係数
- ⑥ インパクトライ角
- ⑦ シャフトリーン角
- ⑧ アタック角
- ⑨ フェース
トウパス角



測定値	1回目 SHOT1	2回目 SHOT2	3回目 SHOT3	4回目 SHOT4	5回目 SHOT5	平均(AVG)
ヘッドスピード(m/s) (HEAD SPEED)	32.7	32.9	32.3			32.6
スイングテンポ (TEMPO)	6	5	4			5
トウダウン (TOE DOWN)	6	5	6			6
前反り角 (KICK ANGLE)	5	5	7			6
しなり係数 (RELEASE FACTOR)	6	7	5			6
インパクトライ角 (IMPACT LIE)	82.0	81.0	82.0			81.0
シャフトリーン角 (SHAFT LEAN)	-11	-7	-9			-9
アタック角 (ATTACK ANGLE)	-7	-6	-7			-7
フェース トウパス角 (FACE ANGLE TO PATH)	-2	3	-3			-1

「シャフトオプティマイザー」が最適なクラブ選びに必要な9つの要素を瞬時に計測します！

EASY FITTING!

フィッターのおすすめ

MODEL	ロフト角	ライ角	FP	MODEL
2 Mizuno Pro 920	30	61.5	1.8	1 GX FORGED No.5-PW
1 MP-55	32	61.5	3.7	
3 Mizuno Pro 920	32	61.5	3.5	
4 Mizuno Pro 719	32	61.5	3.3	

最適なヘッドタイプに対して、ロフトやライ角などスベックをフィットさせることが可能です。

MODEL	ロフト角	ライ角	FP	MODEL
1 MP-55	32	61.5	3.7	1 GX FORGED No.5-PW
2 Mizuno Pro 920	30	61.5	1.8	
3 Mizuno Pro 920	32	61.5	3.5	
4 Mizuno Pro 719	32	61.5	3.3	

最適なシャフトがわかる！
3球フィッティングで導き出されたシャフトは5つ。練習頻度や今後目指すプレーなどの指針を、フィッターと相談しながら、より最適を導き出していきます。



シャフトオプティマイザー 3D

48歳。

今年から急にチーピンが出るようになった。

68歳。

得意だったアプローチがボロボロに…

クラブと偶然 りなく少ない。

59歳。

スライス歴25年。
もう直りませんか？

3球打っただけですべてがわかる。



MIZUNO
GCF SHOP

お気軽に。



MIZUNO GOLF CUSTOM FITTING SHOP mizuno.jp 0120-320-799



REACH BEYOND

63歳。

7Iで150yが
届かなくなった…

ベストなゴルフ 出会うことは限

44歳。

アベレージ100が
なかなか切れません…

54歳。

ドライバー平均210y。
これ以上飛びませんか？

MIZUNO PERFORMANCE FITTING SYSTEM

フィッティングなら確実にベストなクラブと出会えます。

合わないクラブで何時間練習しようが、何回コースに出ようが結果は出ません。もっとも避けたいのは、スイングをクラブに合わせてしまうこと。あなたに必要なのは、いまのスイングに合わせたクラブです。MIZUNOの最新システムの核となるSHAFT OPTIMIZER 3Dは、わずか3球でスイングデータを高精度に診断。あなたのゴルフを変革するベストなクラブを提案します。



REACH BEYOND

凱旋、 JPX。 3.20 DEBUT



世界が認めたぶっ飛び系

JPX 2000

mizuno.jp 0120-320-799

BUZZ

3

MIZUNO世界戦略イヤーを見逃すな!



2020年3月号 Special Collaboration
発行人/内本理巳 発行/株式会社BUZZ GOLF

東京支社/〒102-0071 東京都千代田区富士見1-12-1 Q-DAN1991ビル1F ☎03-5275-4400
大阪支社/〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波2-3-11 チンパン千代ビル4F ☎06-6484-5337